

所 属	愛知県名古屋市長伊勝小学校		実践者	西平 祐紀
対 象	小学校３年生（65 名）		実践日	2023 年 11 月～2024 年 2 月
実践教科	総合的な学習の時間		時間数	15 時間
ねらい	・他国の生活について知り、自分たちと似ているところや違うところがあることに気付く。 ・あってもいい違い、あってはいけない違いについて考え、多様な文化や考え方を受け入れることの大切さや、なくしていかなければならない違いがあることに気付く。 ・違いを認め合いながら、共に生きていくためにできることを考える。			
実践内容	回	プログラム		備 考
	1・2	◆ 世界と肯定的に出会おう ① 国名あいいうえお【アイスブレイク】 ② クイズどこの国でしょう？【クイズ】		・偕成社「世界のともだち」シリーズ
	3・4	◆ 日本と似てる？違ってる？ ・前時で紹介した6つの国（アメリカ、モンゴル、ウズベキスタン、フィンランド、ペルー、ケニア）と日本との類似点、相違点を見つける【対比表】 ・回し読みで読み合い、すてきだと思うところに♡印をつけ、共有する		
	5・6	◆ ちがいのちがい ・前時で見つけた相違点を含む、10個のちがいを、あってもいいちがい、あってはいけないちがい、どちらか迷う違いに分類する ・あってもいいちがいとあってはいけないちがいの特徴を考える		・ロイノート
	7・8	◆ もしも他国に住んだら？ ・他国に住む日本人へのインタビューから、他国で暮らす困難さや文化の違いについて知る ・5人の日本に住む外国人の話から、その人たちの気持ちを想像する		・愛知県「みんなでつくろう多文化共生社会」
	9～14	◆ みんなが気持ちよく過ごせる〇〇をデザインしよう ・みんなとは誰のことかを考え、気持ちよく過ごせるための視点を知る ・誰もが気持ちよく過ごすために必要な要素をグループで出し合い、全体で共有する【ブレインストーミング】 ・公園、コンビニエンスストア、レストラン、スーパーマーケットの4つの施設をグループごとにデザインする【イメージ図】 ・プレゼンして、評価の指標に合わせて投票		
	15	◆ みんなで目指そう！多文化共生社会！【行動宣言】 ・誰もが気持ちよく過ごせる社会を実現するために、自分にできることを考える		
成 果	・6つの国の子どもを紹介し、共通点を探したことで、他の国に親しみをもつことができた。 ・個人の好みや考え方、文化などの違いはあってもよく、不平等や誰かが傷つく違いはあってはいけないという特徴をとらえることができた。 ・学区には多くの外国の方が住んでいて、「困っている人がいたら声を掛けたい」など自分たちにできることを考えることができた。			
課 題	・プログラムの多くの部分を外国の人に焦点を当ててきたため、「誰もが気持ちよく過ごせる〇〇をデザインしよう」の誰もがを考える時に、「世界中の人みんな」などという意見が多く出て、具体的に考えることが難しかった。			
備 考				